

NaViset Administrator2 使用事例

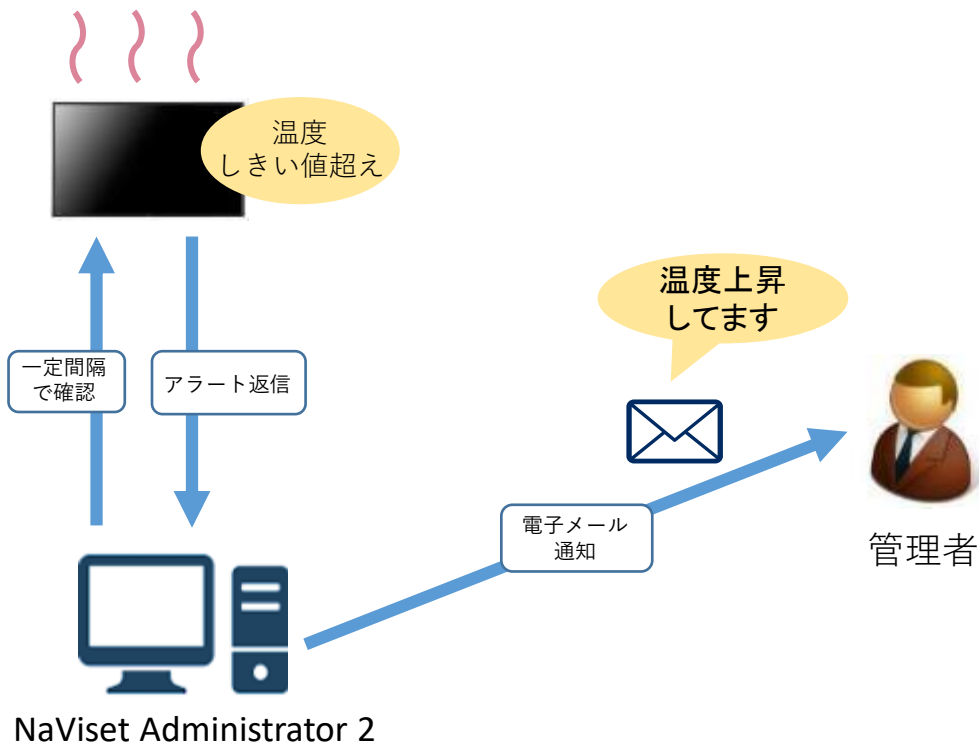
**筐体内の温度を監視し
温度上昇があった場合に
電子メールで通知する**

概要

筐体内の温度を監視し、温度がしきい値を超えた場合、管理者にメールで通知する

本機能に対応している製品

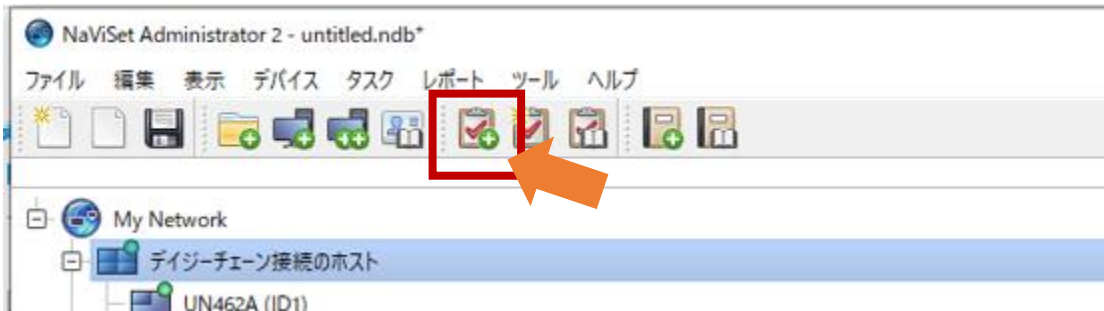
- 当社製パブリックディスプレイ（一部機種除く）
- 当社製プロジェクター（一部機種除く）



電子メール送付のためには、事前設定が必要になります。
設定方法につきましては、
別紙手順書「通知メール設定」をご確認ください。

1. 基本情報設定

- (1) ツールバーの「新しいタスク」ボタンをクリックして新規のタスクを作成します。



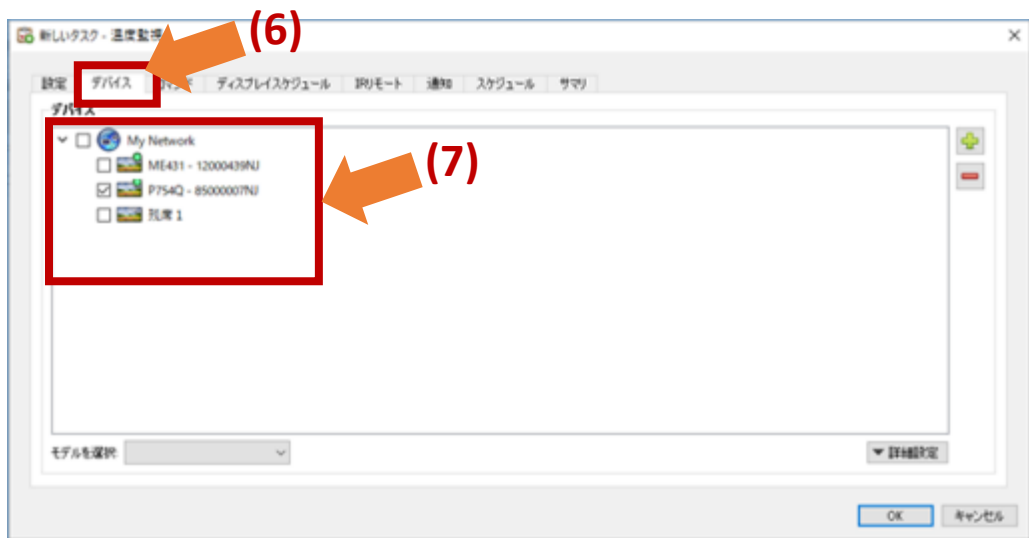
- (2) 何をするタスクかわかるように「名前」と「説明」を入力します。
- (3) 「タスクの種類」で「条件付き」を選択します。
- (4) 「一回のみポーリング」を選択します。



2. 状態確認を行う対象機器の選択

(6) 「デバイス」タブをクリックします。

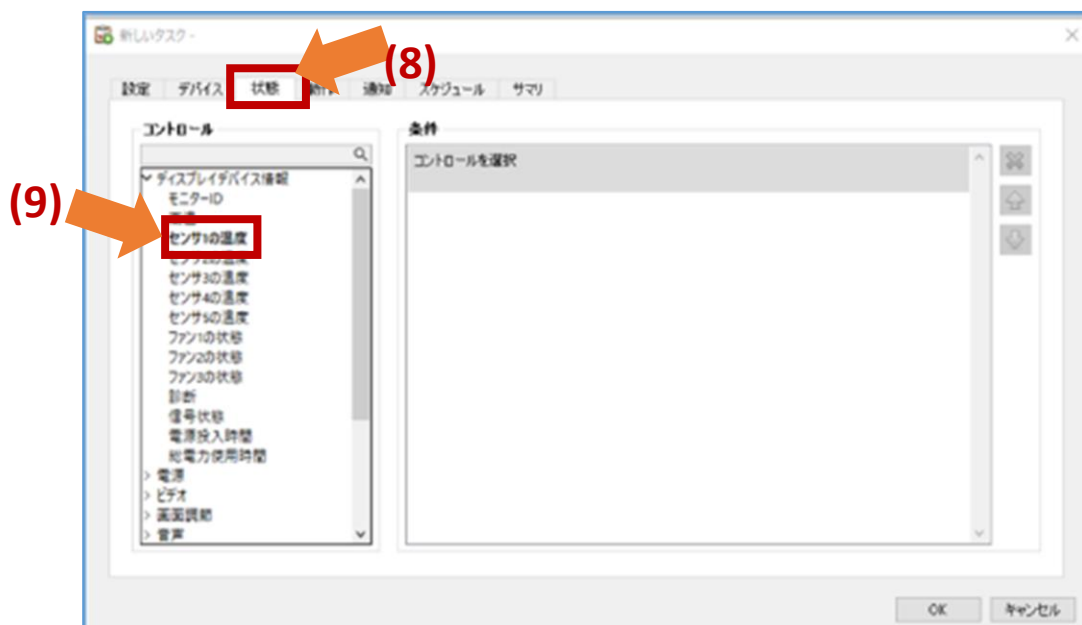
(7) 状態確認したい機器のチェックボックスにチェックを入れます。



3. 条件の作成

(8) 「状態」タブをクリックします。

(9) 「ディスプレイデバイス情報」 - 「センサ1の温度」※をダブルクリックします。

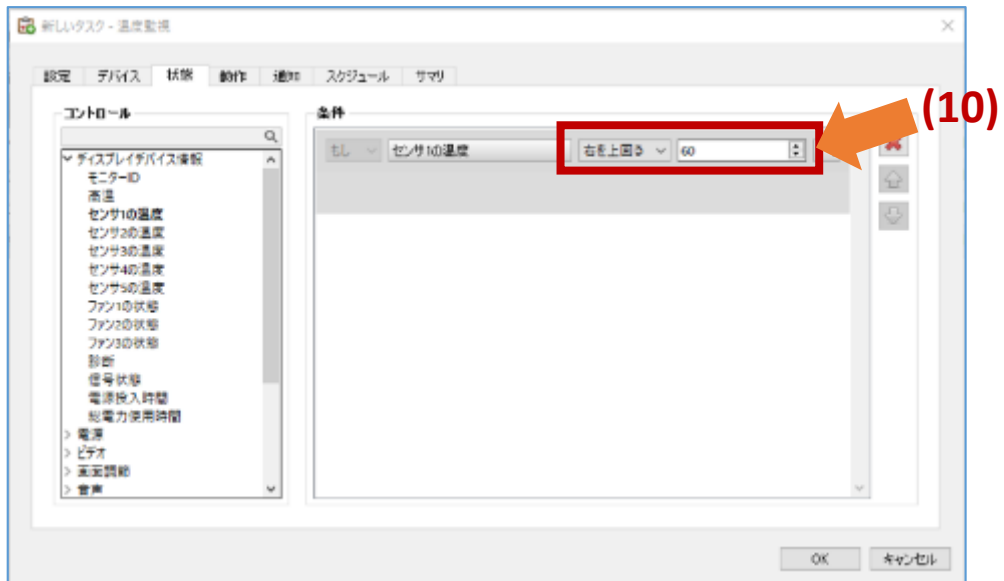


※機種によっては、「センサ1の温度」とは異なる表記の場合があります。その場合は「ディスプレイデバイス情報」内の温度情報のうち一番上にあるものを選択してください。

(10) 「条件」に「上回る」、またしきい値となる温度を選択します。

しきい値となる温度については、別資料「パブリックディスプレイの熱異常をメールで通知する：目安となる温度」をご確認ください。

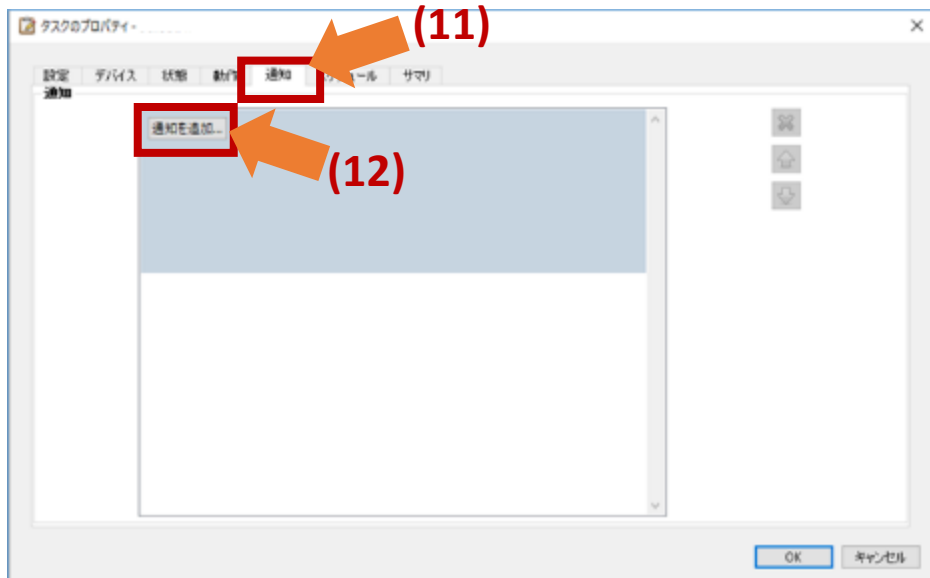
※目安となる温度の提供はパブリックディスプレイでのみ行っています。プロジェクターで本機能を使用する場合は、通常稼働時の温度を実機で確認し、温度設定を行ってください。



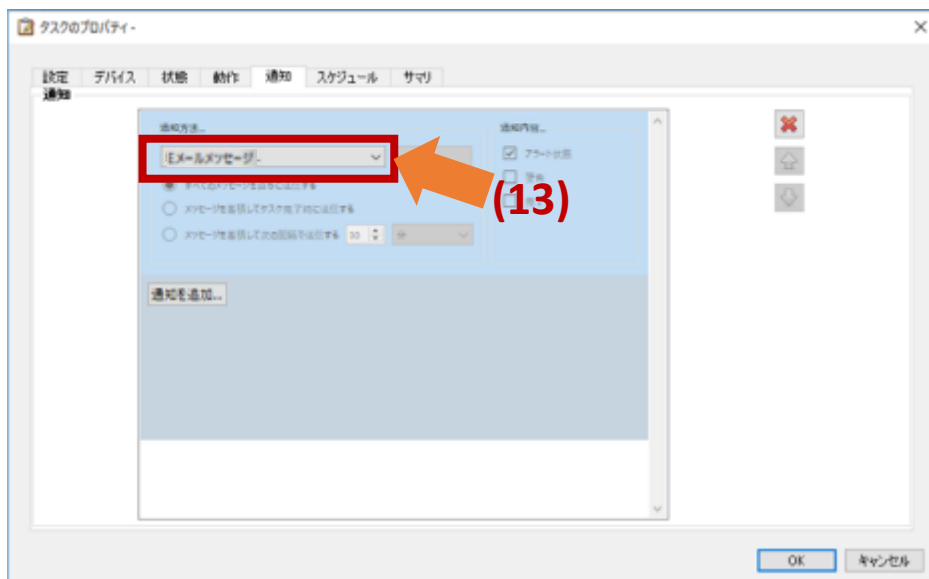
4. 通知する電子メールの設定

(11) 「通知」タブをクリックします。

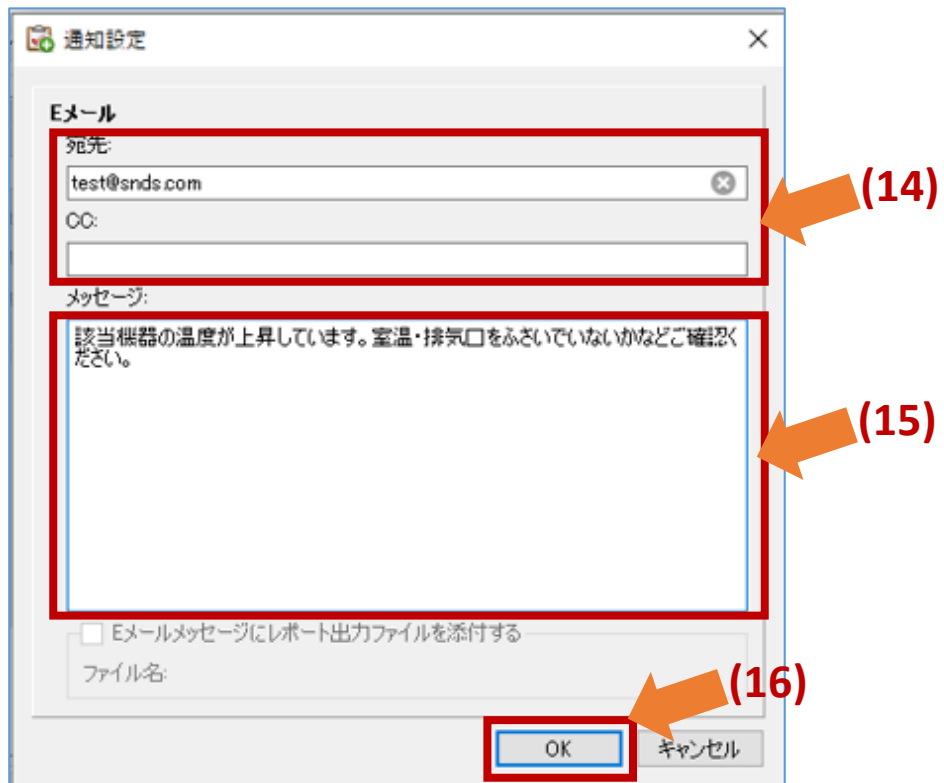
(12) 「通知を追加...」をクリックします。



(13) 「通知方法」の「通知の種類を選択する…」で「Eメールメッセージ」を選択します。「通知設定」のダイアログが開きます。



- (14) 「宛先」 「CC」 欄にメールの送付先を記載します。
タブをクリックします。
- (15) 「メッセージ」 欄に電子メールの内容を記入します。
- (16) 「OK」 を押します。



(17)メッセージを送信するタイミングを選択します。
ポーリング間隔ごとの煩雑なエラーメール通知を避けるため、「メッセージを蓄積して次の間隔で送信する」を選択することを推奨します。

(18)「通知内容...」で「アラート状態」を選択します。

通知方法...

メール: test@snds.com 設定...

すべてのメッセージを直ちに送信する

メッセージを蓄積してタスク完了時に送信する

メッセージを蓄積して次の間隔で送信する 分

通知内容...

アラート状態

警告

完了

通知を追加...

5. スケジュールの設定

(19) スケジュールタブをクリックします。

(20) 「実行オプション」で「スケジュール」を選択します。

(21) 「実行スケジュール」の「本タスクの実行」で実行する時間の間隔を設定します。
(下の画面例では「15分ごと」としています。)

注：前の確認作業が終わらないうちに次の確認が始まるとエラーになるため、時間間隔は余裕を持って設定して下さい。



6. 設定内容の確認

(22) 「サマリ」タブをクリックします。

(23) タスクの設定を確認し、「OK」をクリックします。

